

# 平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	認定農業者支援事業			会計	款	項	目	大	小
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	農業振興課				
施策	5-4	多様な方面からの農業の振興		主管課長	安蒜 康志				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	認定農業者	意図	本市農業の環境に配慮した農業振興を図る。
事業内容	本市農業の中心的な役割を担っている認定農業者を支援することにより、生産規模の拡大及び効率化を図るとともに、更なる農業振興を図る。（支援内容：生分解性フィルム、防草シート、防虫ネット等の環境配慮型農業資材の購入費の一部を支援）			
事業開始から現在までの状況変化	平成28年度からの事業開始であり、認定農業者（農業経営基盤強化促進法に基づく農業経営改善計画の市町村の認定を受けた農業経営者）等に特化した支援事業であり、担い手農業者の更なる育成が図られる。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	認定農業者数（認定新規就農者含む）			47	人	↑↑↑	（経営体としては41経営体）
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	環境配慮型農業資材の定着				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ◆41経営体のうち、平成28年度は15経営体からの申請のみであった。			
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)				2,784,000				
事業費(b)(円)				1,411,000				
うち一般財源				1,411,000				
職員給与費(c)(円)				1,373,000				
人役・職員(人)				0.20				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	[新規事務事業により記載なし]	③取組の課題	認定農業者への周知
②今年度(H28)に実施した取組	[新規事務事業により記載なし]	④今後の改善計画	本支援事業の説明会を開催し、周知を図る。